

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

<p>事業番号・事業名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ D-23-10 防災集団移転促進事業（長磯浜地区） ・ D-1-7 防災集団移転促進事業に伴う道路整備事業（長磯浜地区）
<p>事業費 総額2,421,458千円（うち国費：2,072,472千円） （内訳：用地費777,708千円，設計費93,623千円，工事費1,550,127千円）</p>
<p>事業期間 平成24年度～令和3年度</p>
<p>事業目的・事業地区</p> <p>市内の長磯浜地区において、津波により壊滅的な被害を受けた地域の集団移転のため、安全な高台等に新たな居住地の整備を行うとともに、団地への安全な通行の確保を図るため関連する道路整備を行ったもの。（位置図は別紙のとおり）</p>
<p>事業結果</p> <p>地区名：長磯浜地区 総用地面積46,792㎡ 総整備区画数64区画 道路整備：取付道路 施工延長L=1,720m 幅員W=4.0～6.0m</p> <p><平成24年度～令和2年度> 用地・補償 777,708千円 <平成24年度～平成30年度> 調査・測量・設計 93,623千円 <平成25年度～令和3年度> 造成工事 1,550,127千円 <平成27年度> 7月7日より供用開始</p>
<p>事業の実績に関する評価</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長磯浜地区防災集団移転団地は、令和5年3月時点で、64区画が居住している。 ・移転促進区域内の地元協議会と協議を進め、整備区画数のほか、団地内に災害公営住宅、集会施設、公園、四阿を配置するなど地域コミュニティに配慮し、被災者のニーズに合った整備内容であり、災害危険区域を避けた安全・安心な住まいの再建が行われたことから、事業内容は適切なものとする。 ・防災集団移転団地内へ連絡する道路整備を行ったもので、団地へのアクセス道等に利用されており、利便性の向上に繋がっていることから事業は適正な執行がなされていると判断される。 <p>②コストに関する調査・分析・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造成工事は、施工者選定のためのプロポーザル募集要項に基づき、技術提案の提出希望者を公募し、一定の条件を満たす応募者から技術提案書等の提出を受け評価を行い、総合的に最も優れた内容の提案を行った業者を選定している。工事費についても契約時及び現場の状況に合わせた変更の都度精査を行っており、妥当であると判断される。

③事業手法に関する調査・分析・評価

・長磯浜地区における防災集団移転促進事業及び防災集団移転促進事業に伴う道路整備事業は、以下のとおりである。

<想定した事業期間>

調査・測量・設計 平成24年4月～平成25年6月

用地取得・物件補償 平成25年1月～平成25年3月

造成工事 平成25年4月～令和元年10月

供用開始 平成27年4月

<実際に事業に有した事業期間>

調査・測量・設計 平成24年8月～平成31年2月

用地取得・物件補償 平成24年10月～令和3年1月

造成工事 平成25年4月～令和3年8月

供用開始 平成27年7月

附帯業務等 ～令和3年2月

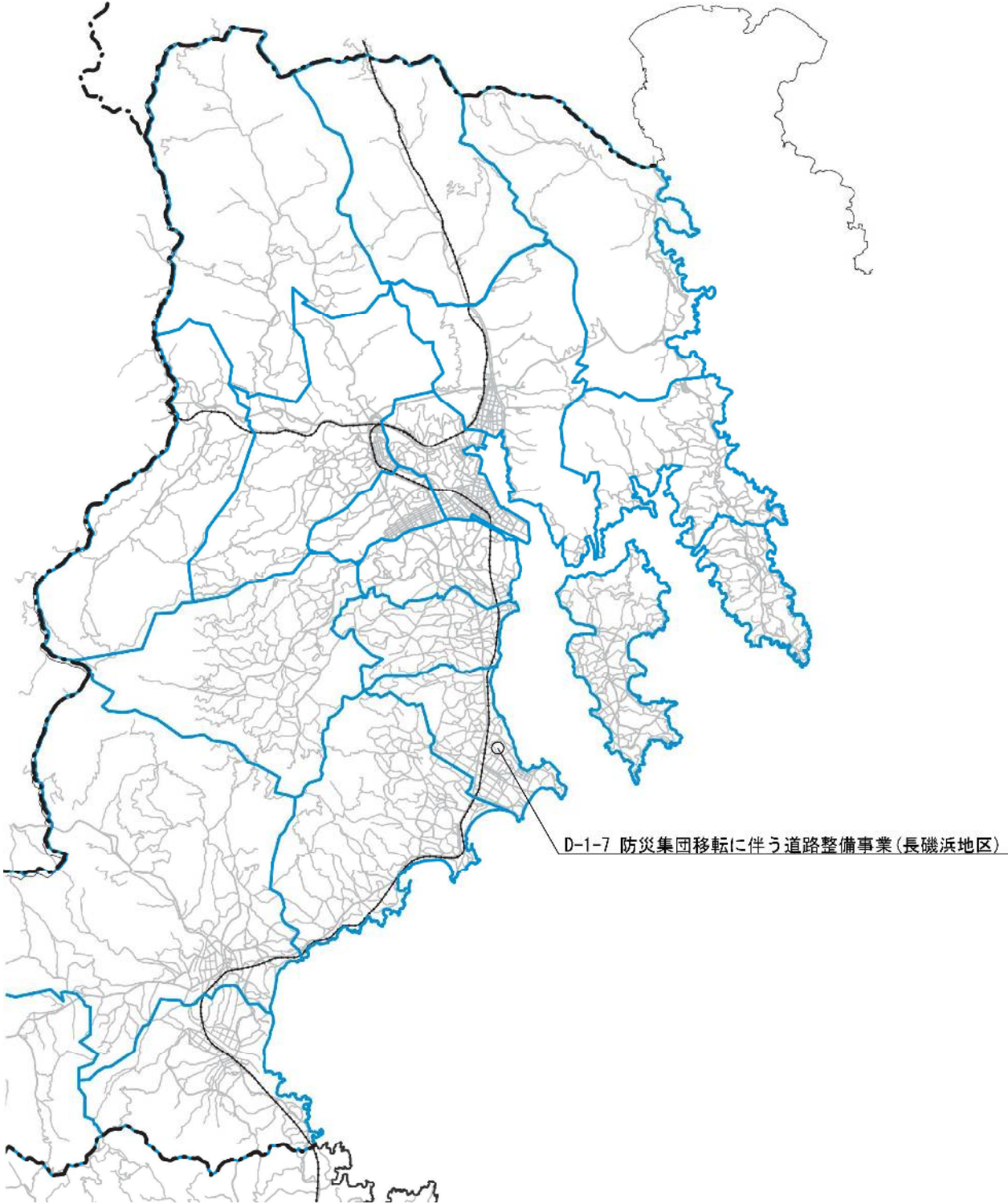
・他事業との調整，盛土材や工事用通路，工事ヤードの確保に時間を要したが，マネジメント業務を活用した工事間調整会議の開催により，概ね予定どおり宅地の引渡しができることから事業手法は適正だと考える。

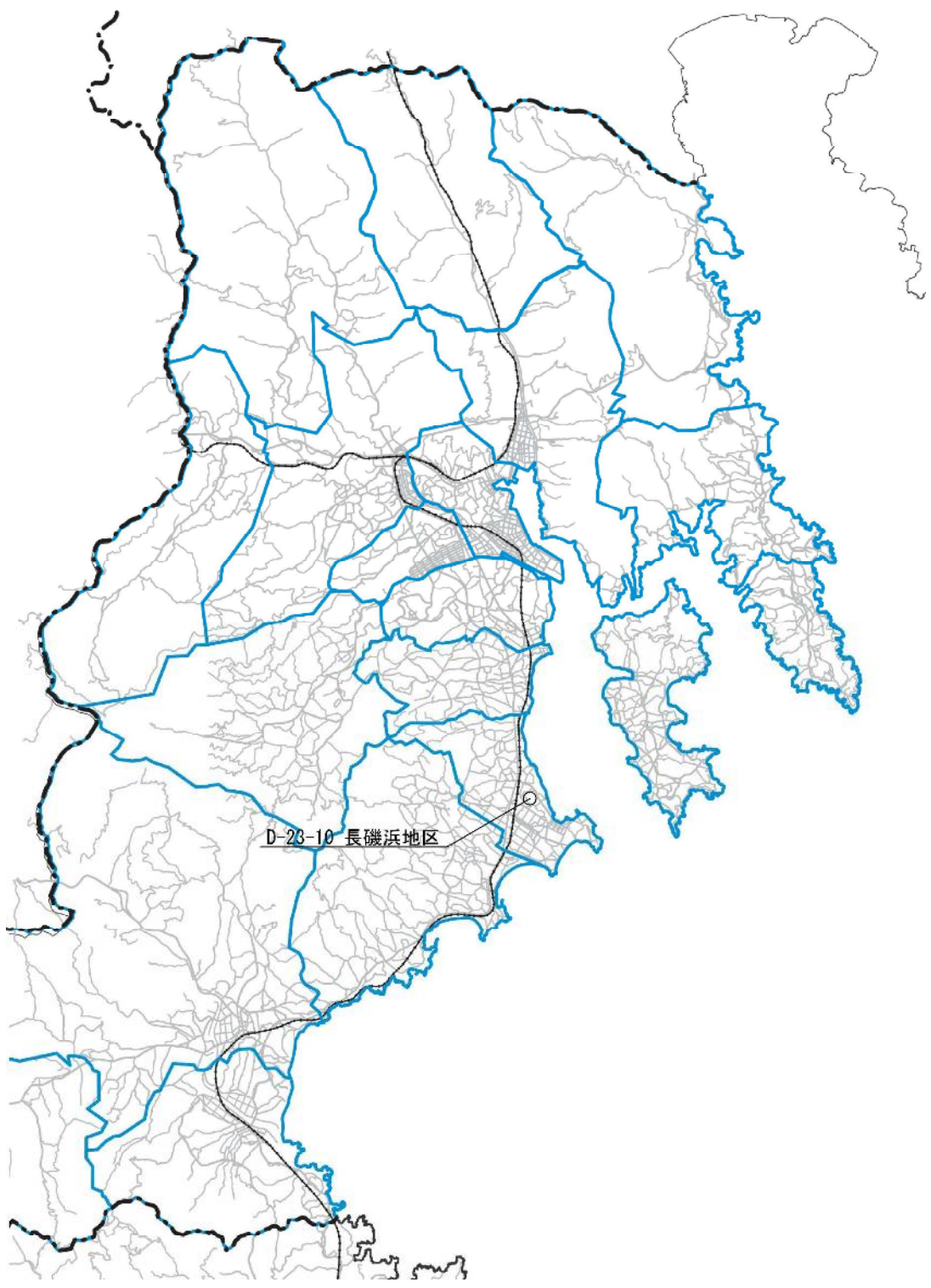


事業担当部局

建設部住宅課 電話番号：0226-22-3426

位置図





【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	D-1-8																														
事業名	道路整備事業千円（金子線）																														
事業費	総額1,749,569（うち国費1,399,653千円） （内訳：調査設計費94,710千円，用地補償費65,302千円，工事費1,589,557千円）																														
事業期間	平成24年度～令和2年度																														
事業目的・事業地区	東日本大震災により被災した地域の市道について，本吉町小泉地区及び防災集団移転促進事業等の復興事業と一体となって，復興に向けた市民生活の利便性向上を図るため道路整備を行ったもの。（位置図は別紙のとおり）																														
事業結果	路線名：金子線（L=1,174m，W=9.5m） 金子橋 橋長L=93m、幅員W=9.5m <平成24年度～平成28年度> ・調査設計費 94,710千円 <平成27年度～平成30年度> ・用地補償費 65,302千円 <平成27年度～令和2年度> ・工事費 1,589,557千円																														
事業の実績に関する評価	<p>①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>本路線は，津波浸水区域の本吉町小泉地区及び防災集団移転地等から，公共施設や商店街等が位置する本吉町中心市街地の津谷地区を結ぶ路線であり，市街地相互を接続する道路である。本事業により狭隘箇所の解消とともに橋梁の耐震化などが強化されたことにより，市民生活の利便性向上が図られたことから，事業は適正に執行がされたと判断される。</p> <p>②コストに関する調査・分析・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の設計及び工事は，標準積算基準書等により実施し，気仙沼市財務規則等に基づき入札を行い，業者を選定し実施している。 ・また，整備延長が長いことに加えて，橋梁整備や旧橋撤去などの整備も含まれていることから，事業費としては大きくなっているが，道路工事に限ってみれば同種の他事業と比較しても妥当な事業費であることから，適正に執行されたと判断される。 <p>③事業手法に関する調査・分析・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下のとおり，計画より完了までに時間は要したものの事業完了することができた。 <table border="0"> <tr> <td colspan="4">＜想定した事業期間＞</td> </tr> <tr> <td>測量設計</td> <td>平成24年</td> <td>9月～平成27年</td> <td>6月</td> </tr> <tr> <td>用地買収，物件補償</td> <td>平成26年</td> <td>3月～平成27年</td> <td>9月</td> </tr> <tr> <td>橋梁工事，道路工事着手</td> <td colspan="3">平成27年12月</td> </tr> <tr> <td>新設橋梁完成，供用開始</td> <td colspan="3">平成30年10月</td> </tr> <tr> <td>道路工事完了，供用開始</td> <td>平成31年</td> <td colspan="2">3月</td> </tr> <tr> <td>旧橋撤去完了</td> <td>令和2年</td> <td colspan="2">3月</td> </tr> </table>			＜想定した事業期間＞				測量設計	平成24年	9月～平成27年	6月	用地買収，物件補償	平成26年	3月～平成27年	9月	橋梁工事，道路工事着手	平成27年12月			新設橋梁完成，供用開始	平成30年10月			道路工事完了，供用開始	平成31年	3月		旧橋撤去完了	令和2年	3月	
＜想定した事業期間＞																															
測量設計	平成24年	9月～平成27年	6月																												
用地買収，物件補償	平成26年	3月～平成27年	9月																												
橋梁工事，道路工事着手	平成27年12月																														
新設橋梁完成，供用開始	平成30年10月																														
道路工事完了，供用開始	平成31年	3月																													
旧橋撤去完了	令和2年	3月																													

<実際に事業に有した事業期間>

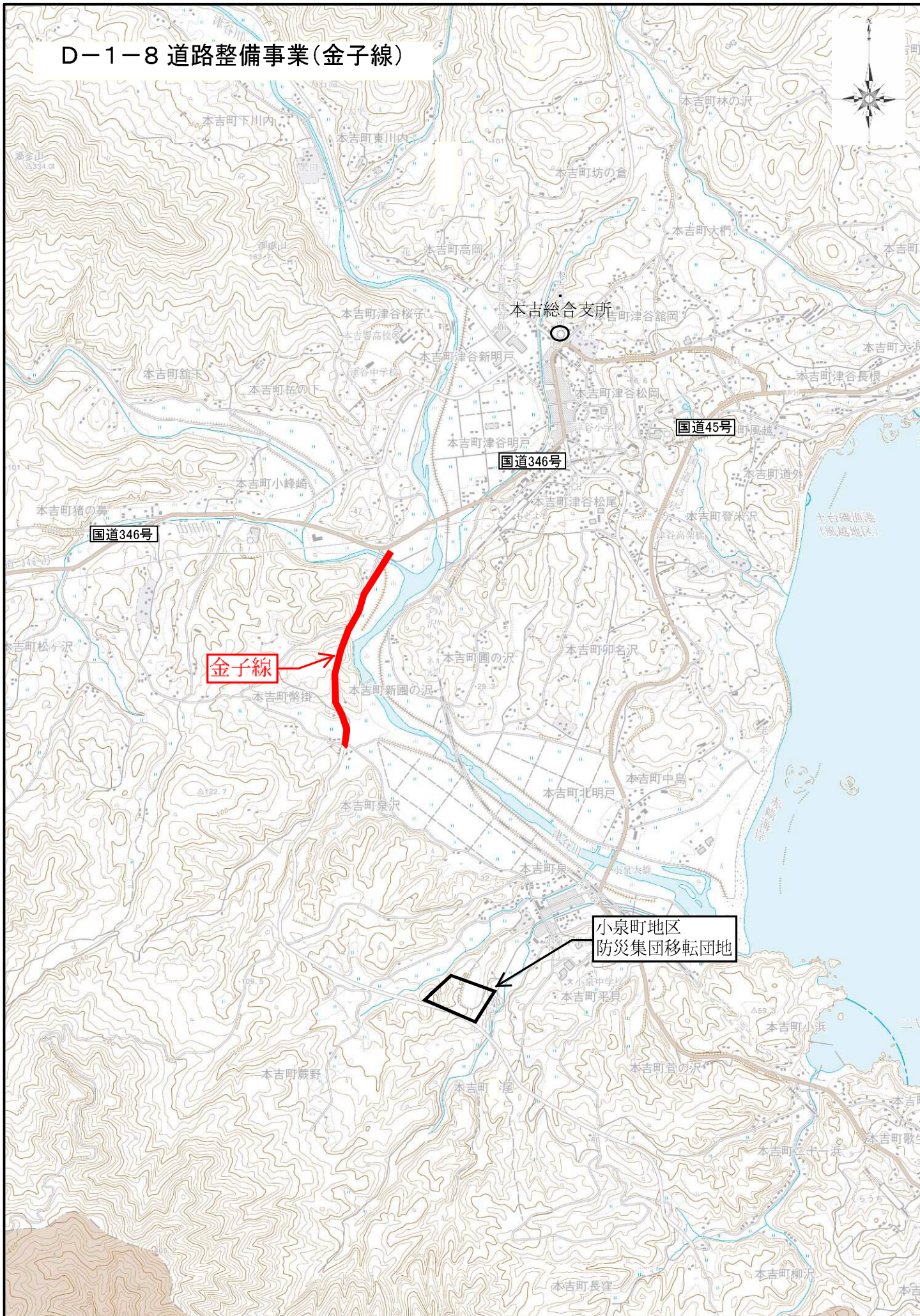
測量設計	平成24年	9月	平成29年	3月
用地買収, 物件補償	平成27年	7月	平成31年	1月
橋梁工事, 道路工事着手	平成27年	8月		
新設橋梁完成, 供用開始	平成31年	3月		
道路工事完了, 供用開始	平成31年	3月		
旧橋撤去完了	令和2年	9月		

- ・遅延した要因として、橋梁設計における河川管理者との協議に時間を要したこと及び地権者との用地交渉などに時間を要したことが挙げられる。

事業担当部局

建設部土木課 電話番号：0226-22-3416

D-1-8 道路整備事業(金子線)



0 250 500 750 1000 m

1:25000

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-1-9 事業名 街路整備事業（魚市場中谷地線）
事業費 総額5,331,111千円（うち国費4,264,887千円） （内訳：用地補償費552,070千円，設計費104,656千円，工事費4,674,385千円）
事業期間 平成24年度～令和3年度
事業目的・事業地区 東日本大震災により被災した地域の都市計画道路について，土地区画整理事業など復興事業と一体的となって，復興に向けた産業・経済活動の活性化を図るとともに，災害時には避難路機能を有する道路整備を行ったもの。（位置図は別紙のとおり）
事業結果 路線名：魚市場中谷地線（L=440m，W=20m）うち，橋梁部L=105m ＜平成24年度～平成27年度＞ ・測量設計等 104,656千円 ＜平成26年度～平成30年度＞ ・用地補償 552,070千円 ＜平成27年度～令和3年度＞ ・橋梁工事，道路工事，旧橋撤去 4,674,385千円 ・平成31年3月1日，新橋梁供用開始
事業の実績に関する評価 ①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ・本路線は二級河川大川で分断されている既存市街地の南郷・田中地区と南気仙沼地区復興土地区画整理事業による新市街地を直結する橋梁を平成31年3月に供用したうえで，令和4年3月に既設橋梁の撤去を計画どおり実施しており，新市街地へのアクセス機能の向上による産業経済活動の活性化や避難機能の強化も図れたことから，事業の適正な執行がなされたと判断される。 ②コストに関する調査・分析・評価 ・本事業の設計は，設計業務等標準積算基準書等により実施し，気仙沼市財務規則等に基づき入札を行い，業者を選定し実施した。 ・また，早期に事業効果を発揮するため，UR都市機構に工事を委託し土地区画整理事業と一体的に整備することにより，コスト縮減と事業効果を意識して実施した。 ③事業手法に関する調査・分析・評価 ・以下のとおり，計画より完了までに時間は要したものの事業完了することができた。

<想定した事業期間>

測量設計	平成24年10月～平成25年12月
用地買収, 物件補償	平成26年1月～平成27年2月
工事着手	平成26年4月
工事完成	令和3年2月
供用開始	平成31年3月

<実際に事業に有した事業期間>

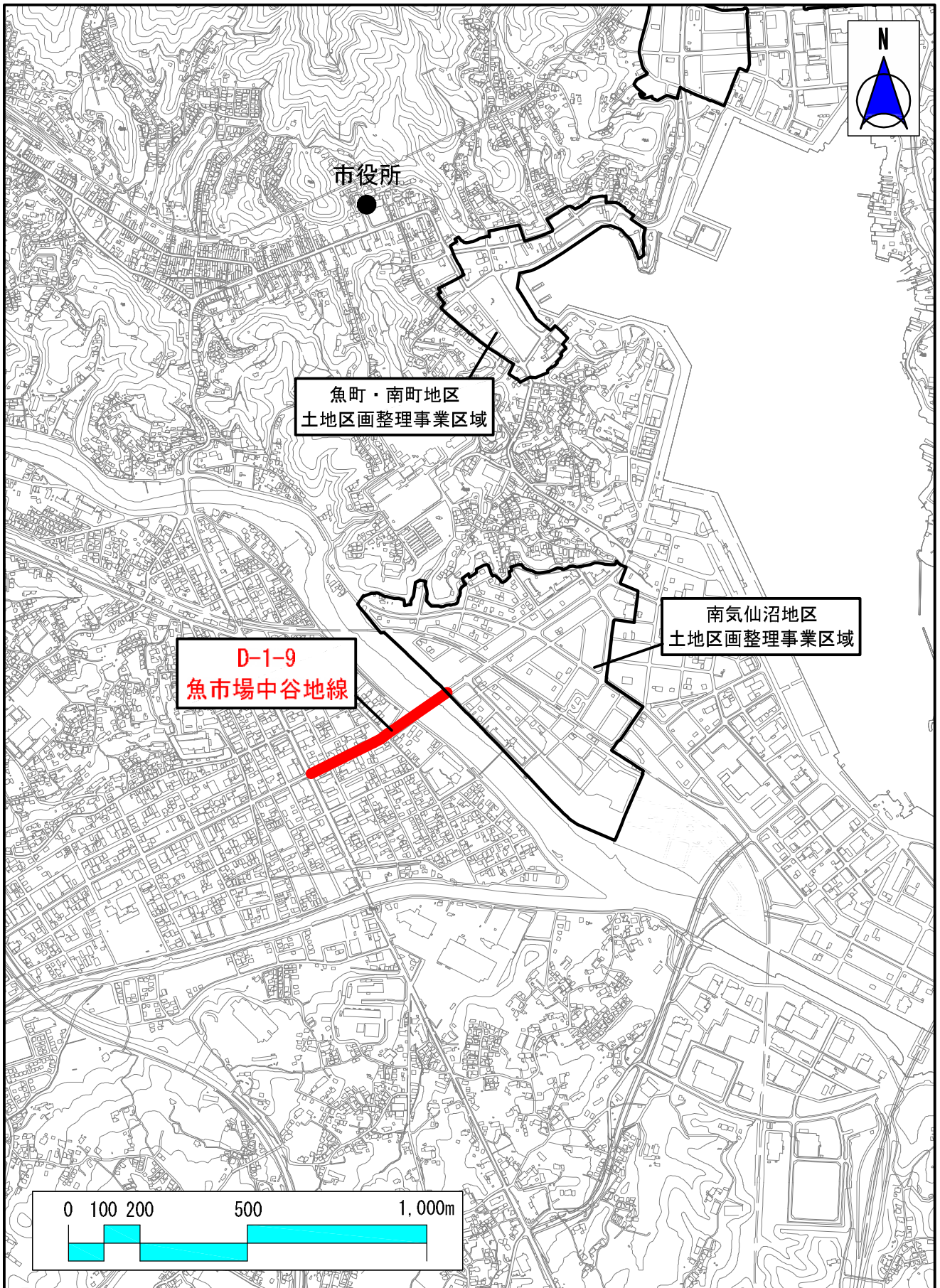
測量設計	平成24年9月～平成27年3月
用地買収, 物件補償	平成27年3月～平成30年10月
橋梁工事, 道路工事着手	平成27年4月
新設橋梁完成, 供用開始	平成31年3月
道路工事完了	令和2年3月
旧橋撤去完了	令和4年3月

- ・遅延した要因として、橋梁設計における河川管理者との協議に時間を要したこと及び用地買収・物件補償における移転先の選定に時間を要したことが挙げられる。
- ・工事においては、工程見直し後、順調に進めることができ、予定どおり新設橋梁を供用開始することができた。

事業担当部局

建設部都市計画課 電話番号：0226-22-3452

事業全体位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-1-10 事業名 街路整備事業（潮見町赤岩五駄鱈線）
事業費 総額6,696,729千円（うち国費5,357,382千円） （内訳：調査設計費275,216千円，補償費1,155,666千円，工事費5,265,847千円）
事業期間 平成24年度～令和4年度
事業目的・事業地区 東日本大震災により被災した地域の都市計画道路について，赤岩港水産加工団地や水産基盤加工集積地などの復興事業と一体的となって，復興に向けた産業・経済活動の活性化を図るとともに，災害時には避難路機能を有する道路整備を行ったもの。（位置図は別紙のとおり）
事業結果 路線名：潮見町赤岩五駄鱈線（L=1120m，W=20m）うち，橋梁部L=131m ＜平成24年度～令和4年度＞ ・調査設計費 275,216千円 ＜平成26年度～令和3年度＞ ・補償費 1,155,666千円 ＜平成27年度～令和4年度＞ ・工事費 5,265,847千円 ・令和3年7月5日，新橋梁供用開始
事業の実績に関する評価 ①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ・本路線は，D-1-20潮見町赤岩五駄鱈線（第2工区）と接続し松岩地区と南気仙沼地区を結ぶ幹線道路であるとともに，本市の基幹産業である水産関連工場が多数立地している水産加工集積地をはじめ，三陸沿岸道路気仙沼港ICへの幹線道路としてのアクセス機能に加え，道路の両側に歩道が整備され災害時における避難経路が確保されたことにより，産業経済活動の活性化や避難機能の強化も図られたことから，事業の適正な執行がなされたと判断される。 ②コストに関する調査・分析・評価 ・本事業の設計及び工事は，標準積算基準書等により実施し，気仙沼市財務規則等に基づき入札を行い，業者を選定し実施している。 ・また，整備延長が長いことに加えて，橋梁整備や旧橋撤去並びに河川協議の条件による護岸整備など当該路線特有の整備も含まれていることから，事業費としては大きくなっているが，道路工事に限ってみれば同種の他事業と比較しても妥当な事業費であることから，適正に執行されたと判断される。 ③事業手法に関する調査・分析・評価 ・以下のとおり，計画より完了までに時間は要したものの事業完了することができた。

<想定した事業期間>

測量設計	平成24年10月～平成26年 3月
用地買収, 物件補償	平成26年 1月～平成30年 9月
工事着手	平成26年 4月
新設橋梁完成, 供用開始	令和 2年 6月
道路工事完了	令和 3年 2月
旧橋撤去完了	令和 3年 2月

<実際に事業に有した事業期間>

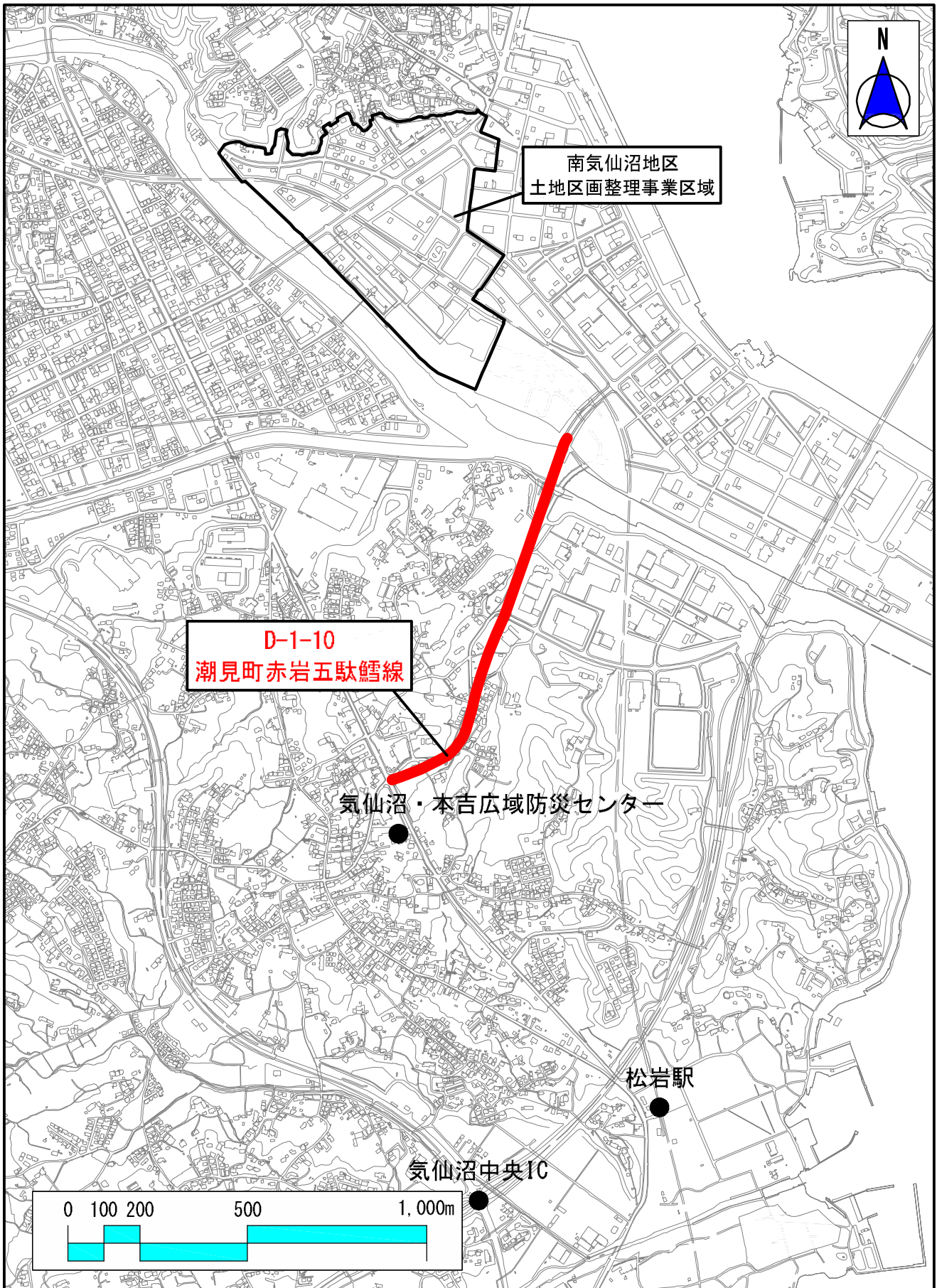
測量設計	平成24年10月～令和 5年 3月
用地買収, 物件補償	平成27年 3月～令和 4年 3月
橋梁工事, 道路工事着手	平成27年11月
新設橋梁完成, 供用開始	令和 3年 7月
道路工事完了, 供用開始	令和 3年12月
旧橋撤去完了	令和 5年 3月

- ・遅延した要因として、橋梁設計における河川管理者との協議に時間を要したこと及び用地買収・物件補償における移転先の選定に時間を要したことが挙げられる。
- ・工事においては、隣接工事との調整に時間を要し遅延したが工程見直し後、順調に進めることができ、予定どおり新設橋梁を供用開始することができた。

事業担当部局

建設部都市計画課 電話番号：0226-22-3452

事業全体位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-1-11 事業名 街路整備事業（南町魚市場線）
事業費 総額2,224,721千円（うち国費1,779,776千円） （内訳：調査設計費112,316千円，補償費1,286,922千円，工事費825,483千円）
事業期間 平成24年度～令和4年度
事業目的・事業地区 東日本大震災により被災した地域の都市計画道路について，復興土地地区画整理事業を実施した魚町・南町地区と南気仙沼地区の新市街地を結ぶ幹線道路としてアクセス機能を強化することにより，復興に向けた産業・経済活動の活性化を図るとともに，災害時には避難路機能を有する道路整備を行ったもの。（位置図は別紙のとおり）
事業結果 路線名：南町魚市場線（L=670m，W=16m） ＜平成24年度～令和4年度＞ ・調査設計費 112,316千円 ＜平成26年度～令和4年度＞ ・補償費 1,286,922千円 ＜平成30年度～令和4年度＞ ・工事費 825,483千円
事業の実績に関する評価 ①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ・本路線は，復興土地地区画整理事業を実施した魚町・南町地区及び南気仙沼地区の新市街地を結ぶ幹線道路としてのアクセス機能を強化することに加え，道路の両側に歩道が整備され災害時における避難経路が確保されたことにより，産業経済活動の活性化や避難機能の強化も図られたことから，事業の適正な執行がなされたと判断される。 ②コストに関する調査・分析・評価 ・本事業の設計及び工事は，標準積算基準書等により実施し，気仙沼市財務規則等に基づき入札を行い，業者を選定し実施した。 ・また，本路線は，用地・補償物件の件数が多く，長大法面の施工や湧水処理など特異な条件により，市街地で整備している同種の街路整備事業と比較して1メートルあたりの事業費は上回るものの，事業内容を鑑みると妥当な事業費であることから，適正に執行されたと判断される。

③事業手法に関する調査・分析・評価

- ・以下のとおり、計画より時間は要したものの事業完了することができた。

<想定した事業期間>

測量設計	平成24年10月～平成25年12月
用地買収、物件補償	平成26年1月～平成27年2月
工事着手	平成26年11月
工事完成	令和3年3月
供用開始	令和3年3月

<実際に事業に有した事業期間>

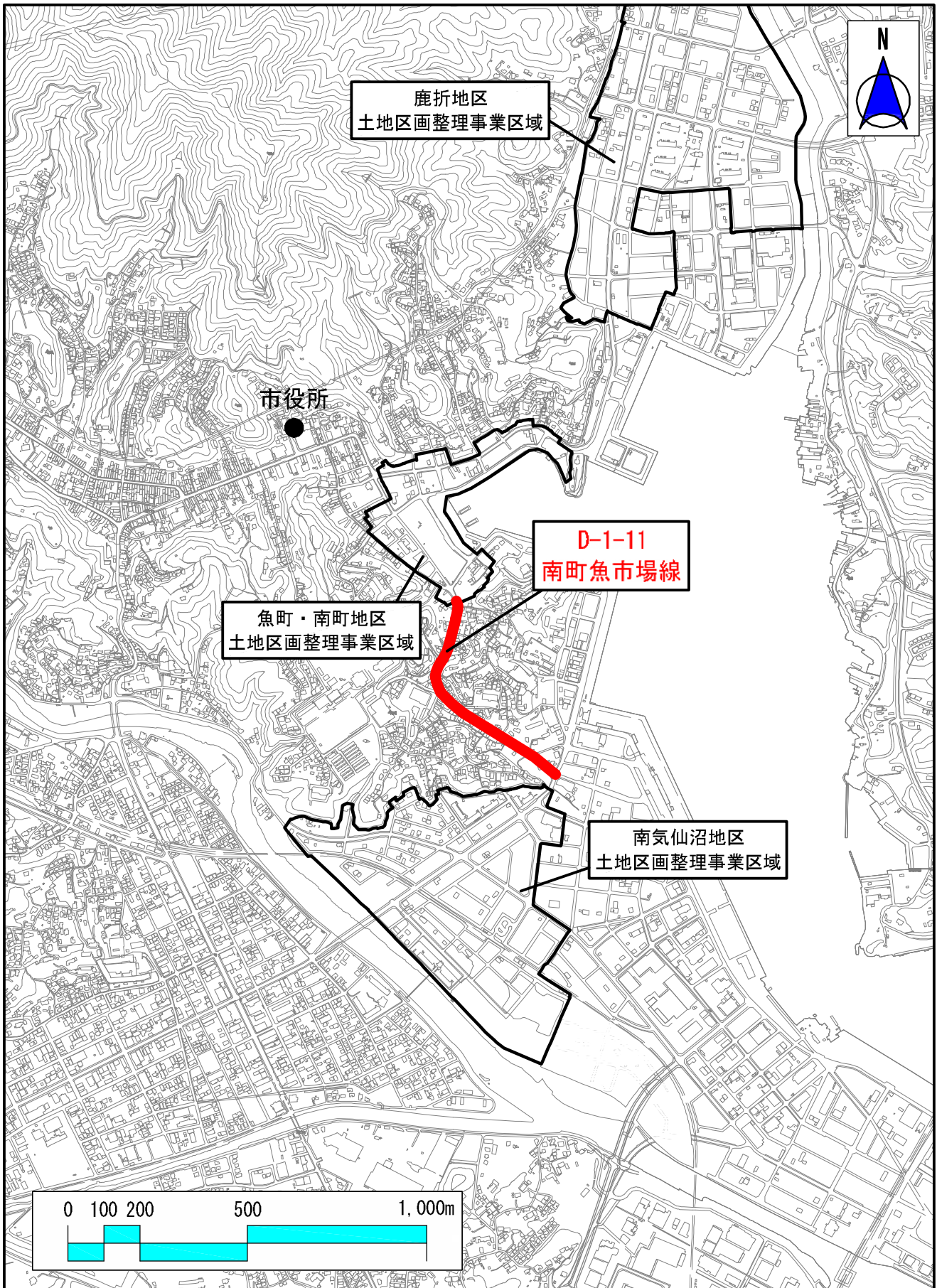
測量設計	平成24年10月～令和5年3月
用地買収、物件補償	平成27年3月～令和5年3月
工事着手	平成31年3月
工事完了	令和5年3月
供用開始	令和5年3月

- ・遅延した要因として、用地買収・物件補償における移転先の選定に時間を要したことが挙げられる。
- ・工事においては、法面の岩盤掘削及び同一区間で実施された地下埋設物工事との工程調整の結果遅延したが、工程見直し後、順調に進めることができ、予定どおり供用開始することができた。

事業担当部局

建設部都市計画課 電話番号：0226-22-3452

事業全体位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-1-12 事業名 街路整備事業（本町宮口下線）
事業費 総額1,138,397千円（うち国費910,717千円） （内訳：調査設計費193,004千円，補償費535,693千円，工事費409,700千円）
事業期間 平成24年度～令和4年度
事業目的・事業地区 東日本大震災により被災した地域の都市計画道路について，土地区画整理事業による新市街地と既成市街地とを結ぶ幹線道路としてアクセス機能を強化することにより，復興に向けた産業・経済活動の活性化を図るとともに，災害時には避難路機能を有する道路整備を行ったもの。（位置図は別紙のとおり）
事業結果 路線名：本町宮口下線（L=700m，W=16m） ＜平成24年度～令和4年度＞ ・調査設計費 193,004千円 ＜平成26年度～令和2年度＞ ・補償費 535,693千円 ＜平成29年度～令和4年度＞ ・工事費 409,700千円
事業の実績に関する評価 ①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ・本路線は，南気仙沼地区復興土地区画整理事業による新市街地から，既成市街地である東新城地区を最短で接続してアクセス機能を強化することに加え，道路の両側に歩道が整備され災害時における避難経路が確保されたことにより，産業経済活動の活性化や避難機能の強化も図られたことから，事業の適正な執行がなされたと判断される。 ②コストに関する調査・分析・評価 ・本事業の設計及び工事は，標準積算基準書等により実施し，気仙沼市財務規則等に基づき入札を行い，業者を選定し実施した。 ・また，市街地で整備している同種の街路整備事業と比較しても妥当な事業費であることから，適正に執行されたと判断される。

③事業手法に関する調査・分析・評価

- ・以下のとおり、計画より時間は要したものの事業完了することができた。

<想定した事業期間>

測量設計	平成24年10月～平成25年12月
用地買収、物件補償	平成26年1月～平成27年2月
工事着手	平成27年4月
工事完成	令和2年12月
供用開始	令和2年12月

<実際に事業に有した事業期間>

測量設計	平成24年10月～令和4年6月
用地買収、物件補償	平成26年12月～令和2年9月
工事着手	平成29年9月
工事完了	令和4年4月
供用開始	令和4年3月

- ・遅延した要因として、法面の岩盤掘削に時間を要したこと及び用地買収において、多数相続が発生している土地があり、交渉に時間を要したことが挙げられる。
- ・工事においては、工程見直し後、順調に進めることができ、供用開始することができた。

事業担当部局

建設部都市計画課 電話番号：0226-22-3452

事業全体位置図

